

「主体性を尊重する教育を」

NEC特別顧問 叡啓大で講演

広島県立の叡啓大（広島市中区）は12日、これから先の社会で必要とされる人材の育成を考えるフォーラムを学内で開いた。NECの遠藤信博・特別顧問の講演があり、県内の経営者や同大の学生約60人が参加した。

経済同友会で教育改革委員長を務めた遠藤さんは、食料や資源を海外に

依存する日本の現状を踏まえ、新たな価値を創造できる人材が欠かせないと強調した。「個の主体性を尊重する教育が多様性を生み、技術革新につながる」と説いた。

学びの原点は「面白い」「楽しい」という興味だとも指摘。「大学教員たち専門家が、生物や物理などの分野で子どもの興味を引く場や教材を提供することが大切だ」とした。

同大の学生8人は、新たな平和発信の方法や、交流サイト（SNS）を

これからの人材育成について語る遠藤さん（右端）



用いた行政情報の伝達など、自ら選んだ課題解決プロジェクトについて発表した。八天堂ファーム（三原市）は、農業で障害者たちの雇用拡大を図る取り組みや社員教育を紹介した。（余村泰樹）